

取組の概要

- 対象品目：果樹（もも、りんご、西洋なし）
 野菜（トマト）
 （受益面積：4,320 a）
- 成果目標①：10 a 当たりの販売額の34.4%増加
 （果樹）
 ・基準（H27年度） 199,549円/10 a
 ・目標（R1年度） 268,185円/10 a
- 成果目標②：秀品（A品）率の16.6%向上
 （野菜）
 ・基準（H27年度） 35.3%
 ・目標（R1年度） 51.9%
- 導入施設等：集出荷貯蔵施設
 （光センサー付き選果機）



山形県村山市



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

本地域は果樹や野菜の生産の盛んな地域であるが、生産者の高齢化が進んでおり、収益性の高い品種への切替や販売単価の向上が課題となっている。
 これに対し、既存の共同選果施設に高性能の選果設備を導入することによって、産地としてのブランド力を高め、高品質な果樹・野菜の安定生産を目指していく。



【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

光センサー付き選果機を整備し、内部品位測定機能を活かして品質の高位平準化を図り、正品果率及び秀品率の向上やプレミアム品等の差別化商品の販売によって販売単価を向上させる。
 市や事業実施主体による生産者へのサポート体制を整える。

推進体制

- 山形県村山総合支庁（北村山農業技術普及課、農業振興課）
- 村山市

- JAみちのく村山
- ①計画の策定・管理
 - ②取組の実施 等

県及び市による指導・助言、各種支援等のサポート体制

地域における独自の取組

- ももとトマトを市の重点作物（地域振興作物）に指定し、産地化と販路拡大の取組を展開
- 市が苗木購入費の助成ほか各種支援を提供
- 事業実施主体が定期的な新規生産者説明会を開催

取組成果

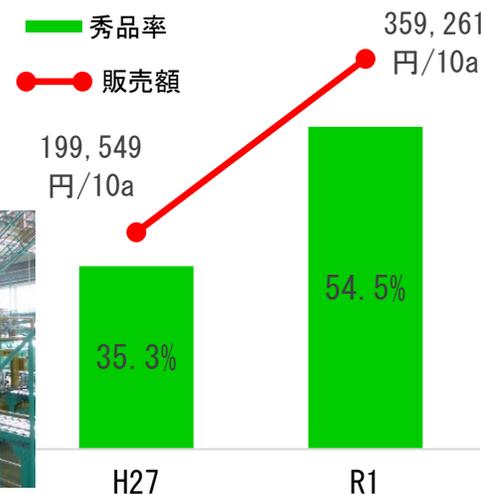
【事業実施による直接効果】

- 秀品率の向上、精確な内部判定による障害果除去により、市場評価が向上
- 製品の高位平準化と安定数量出荷により、販売単価が向上

【事業実施による間接効果】

- 産地化及び販路拡大の推進

10a当たり販売額増加：達成率 232.7%
 秀品率向上：達成率 115.7%



果樹・野菜の収益性向上

